

印・西部貨物専用 鉄道が全線開通

オリコンサルグローバル
施工監理で約13年間貢献

オリエンタルコンサルタン
ツグローバルが2013年末
から約13年にわたり、施工監
理を手掛けたインド西部のデ
リー近郊とムンバイ近郊に位
置する同国最大級のコンテナ
貿易港 Jawaharlal
Nehru Port (J



NPT)を結ぶ全長約150
0kmの西部貨物専用鉄道(W
DFC)が全線開通した。8
日、デリーで開通式が行われ
た。写真。

WDFCは、インド政府が
推進する大規模国家プロジェ
クトで、首都デリーと経済都
市ムンバイを結ぶ基幹インフ
ラ。日本政府と国際協力機構

(JICA)の支援の下で、
日本とインドの企業が協力し
て建設を進めてきた。

同社は、土木・軌道、橋梁、
電力、信号通信などの分野で、
設計照査や施工監理、品質・
安全管理、工程管理、契約管
理、関係機関との調整を担当
し、課題の解決とプロジェクト
の実現を支えた。

同社は、
「厳しい地形
・地質条件に
加えて、既設
鉄道や道路、
河川、都市イ
ンフラとの複
雑な接続、限
られた施工空
間、関係機関

との調整といった多くの技術
的・マネジメント上の課題が
あった」と振り返る。

全線開通で、大容量貨物輸
送に対応した長大・重量貨物
列車やコンテナを上下2段に
積載するダブルスタック・コ
ンテナ列車の運行が可能とな
る。これにより、デリーを中
心とする北部・内陸地域とJ
NPTとの物流ネットワーク
が強化される見込みだ。